

# NGUDO

NGU Alumni Association

# com

2011 october

Vol. 23

座談会

絆を鍛えて、強靱なネットワーク作り  
連携から生まれる相乗効果を考える

2011年10月30日

第19回ホームカミングデーのご案内

活躍する同窓生

瀬戸キャンパスに  
リハビリテーション教育の実践拠点  
「健康センター」誕生



名古屋学院大学同窓会

# 第19回 ホームカミングデーの ご案内

## ■ テーマ

ホームカミングデー『なでしこ祭り』

## ■ 日時

10月30日(日) 12:00~14:00 **入場無料**

## ■ 場所

名古屋学院大学 白鳥学舎 1階レストラン及び  
学生アメニティ棟 翼館1階

※ 翼館1階(コーヒープレイク/14:00~)

10月30日(日)に、名古屋キャンパスの白鳥学舎にて同窓生が年に一度、一堂に会するホームカミングデーを開催します。今回のテーマは「なでしこ祭り」。今年7月に行われたサッカーの女子ワールドカップドイツ大会において初優勝を果たし、私たちに夢と感動を与えてくれた日本女子代表のたおやかな強さと優雅さにちなんで決定しました。同窓生のみならず共に、人と人の絆の大切さをかみしめながら、交流の輪を広げていきます。メイン会場は1階レストラン、気軽に参加できる立食パーティー形式です。当日はイベントもご用意。ホームカミングデー終了時間まで残っていたいた同窓生の方には、抽選で素敵なプレゼントが当たる「お楽しみ抽選会」も行います。是非とも多くの同窓生の方々にご参加いただきたく、ご案内申し上げます。



駐車場がありませんので、公共交通機関でお越しください。

## CONTENTS

- 1 スポットライト SPOT LIGHT  
第19回ホームカミングデーのご案内  
東日本大震災への義援金拠出について
- 3 ご挨拶 GREETING  
名古屋学院大学同窓会 会長 小川博司  
学校法人 名古屋学院大学 理事長 伊藤信義  
名古屋学院大学 学長 木船久雄
- 4 座談会 DISCUSSION  
絆を鍛えて、強靱なネットワーク作り  
連携から生まれる相乗効果を考える
- 7 活躍する同窓生 OBs & OG's NOW  
(財)日本モーターボート競走会 会長 皆川浩二氏  
(株)オークローンマーケティング 相談役 中村規脩氏  
(株)三栄コーポレーション 代表取締役社長 小林敬幸氏  
(株)安城自動車学校 代表取締役社長 石原慧子氏
- 11 支部会&部会だより HOT NEWS  
関東支部 富山支部  
不動産部会
- 11 クラブ&サークル、ゼミナール短報 CLUB & CIRCLE OB&OG SEMINAR REPORT  
ソフトテニス部OBG会 軽音楽部OB・OG会  
マンドリンクラブOB会 グリークラブOB会「名唱会」  
林 順一教授ゼミ生
- 13 同窓会運営の報告 REPORT  
事業報告  
同窓会終身会員について 年会費のお願い
- 14 キャンパスフラッシュ CAMPUS FLASH  
第47回名学大祭開催 第5回瀬戸キャンパス祭開催  
2012年4月、総合政策学科が誕生  
瀬戸キャンパスに、リハビリテーション教育の  
実践拠点「健康センター」誕生  
震災ボランティアについて  
教育研究振興資金募金のおお願い  
2011年度入試結果と2012年度入試に向けて
- 17 インターンシップレポート INTERNSHIP  
2011年度名古屋学院大学インターンシップ  
受け入れのおお願い  
インターンシップ体験者の声
- 18 名古屋学院トピックス TOPICS  
創立120周年記念事業の報告  
大学院トピックス  
大学院からのお知らせ



昨年の  
ホームカミングデーの様子



### ホームカミングデーとは

名古屋学院大学卒業生のOB・OGとご家族、そして教職員が、NGUファミリーという大きな輪を広げることを目的に、年に一度キャンパスに集い、コミュニケーションを深めるイベントのことです。

### 「第19回 ホームカミングデー」プログラム

- |        |         |        |         |
|--------|---------|--------|---------|
| 12:00～ | 開会      | 13:50～ | お楽しみ抽選会 |
| 12:30～ | 縁日イベント  | 14:00～ | 閉会      |
| 12:40～ | フェスティバル |        |         |

#### ★アトラクション

日本舞踊／琉球舞踊／越中おわら風の盆／チアドラゴンズOG  
※1階レストラン及び翼館1階にて随時演技を披露しています。



これらの趣旨をご理解いただけますこと  
をお願いします。ご協力有難うございました。

### 東日本大震災への 義援金拠出について

3月11日に起きた東日本大震災は我々が過去経験した地震・津波の域をはるかに超え、あつという間に東北3県を壊滅状態にしてしまいました。

家族を亡くし呆然とする人々、行方知れずの人を探す最中にも余震は収まらない。そんな様子をテレビで見ると我々も一日と深刻化する状況に落胆するばかりでした。

あれから半年が過ぎ、現地からの映像は少しずつ活気が戻り、かつての日常を取り戻そうと復興する風景も見られるようになりました。

同窓会も震災直後からどんな支援ができるのか、どんなお手伝いができるのか協議してまいりました。そして卒業生の皆様よりお預かりいたしました同窓会費より200万円を義援金として拠出し、地元メディアの中日新聞を通じて現地へ送らせていただきました。

## 会長あいさつ

名古屋学院大学同窓会 会長

小川博司



秋涼の候、皆様には、ご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素より、同窓会運営にご支援ご協力を賜りまして、誠にありがとうございます。昨年は、同窓会事業部会の一環として、「不動産部会」を設立いたしました。部会を通して、同窓会活動に活性化を図りたいと思っております。

また、昨年のホームカミングデーには、多数の同窓生の方々にご参加いただきました大変盛大に行うことが出来ました。この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

今年度は、10月30日(日)にホームカミングデーを開催いたします。今年も昨年と同様、ご家族ご友人とお誘い合わせの上多数ご参加くださいますようお願い申し上げます。

これからも効率的な事業運営と情報提供に、理事、代議員一丸となつて努力してまいりますので、これまで以上にご支援とご協力をお願い申し上げます。

## 理事長あいさつ

学校法人 名古屋学院大学 理事長

伊藤信義



同窓生の皆様におかれましては、平素より名古屋学院大学の教育、研究活動に格別のご理解、ご支援を賜り厚くお礼申し上げます。

このたびの東日本大震災において被災された方々には、心からお見舞い申し上げます。平穩な日々が早く戻ることをお祈りいたします。

さて、名古屋学院大学は名古屋キャンパスを開設して5年目を迎えています。この5年間、若い学生が魅力を感じ、勉学に、スポーツに打ち込むことができるようキャンパスを整備してまいりました。名古屋キャンパスでは、学生アメニティの場であり、500名収容のホールを持つ翼館、クラブハウスの建設、瀬戸キャンパス

ではラグビー場、サッカー場の人工芝化、室内プール建設、クラブハウスの改修等を行いました。

今年度は瀬戸キャンパスに健康センターを新たに設置、更に合宿所「友愛」を

## GREETING ご挨拶

建て直し、新合宿所を建設いたします。健康センターとは診療所(整形外科等)、通所リハビリセンターのことです。これは地域への医療貢献の場であるだけでなく、リハビリテーション学部生にとつては臨床実習の場であり、教員にとつては研究の場でもあります。名古屋学院大学の新しい一面となる施設で、今後を期待しております。一方、合宿所「友愛」は同窓生の皆様にも思い出ある施設ですが、建て直しを行い、RC造2階建の14部屋からなる合宿所を建設中です。クラブやゼミでの合宿施設として、瀬戸キャンパスの学生だけでなく、名古屋キャンパスの学生も多く利用することとなります。

このように各キャンパスの特色を出しながら、今後名古屋、瀬戸キャンパスの教育環境の整備に努めていく次第です。同窓生の皆様には、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

## 学長あいさつ

名古屋学院大学 学長

木船久雄



同窓生の皆様におかれましては、平素より名古屋学院大学の教育、研究活動に格別のご理解、ご高配を賜り厚くお礼申し上げます。

さて私は、本年4月1日より名古屋学院大学第11代学長という大役を任されることとなりました。浅学非才の身ですが、皆様のご薫陶を得ながら全力で職務に励む所存ですので、前任の小嶋博の折と同様に「ご支援・ご鞭撻のほどよろしくお願いたします。

3月11日に起きた東日本大震災は、未曾有の地震・津波による自然災害に加え、人類史上最悪の原発事故を引き起こしました。被災された方々や彼らに所縁の深い方々には、心よりお見舞い申し上げます。

ところで、1000年に一度と言われる大震災は、本学の建学の精神「敬神愛人」が持つ真理を私たちに再認識させたように思います。自然を凌駕する

がごとき推し進めてきた近代以降の科学技術の発達も、未だ大自然には敵わないこと。窮地に際して、人は一人では生きられず、いかに他者とのつながりや愛が重要であること。これらは「神を敬い、人を愛せよ」を想起させるものでしょう。

多数の識者が、今回の震災を日本の第三の転換期と位置付けています。第一は明治の開国、第二は太平洋戦争からの復興、そして今回の復興が三番目というのです。復興への具体的な処方箋は玉虫色ですが、長期的にはより環境志向で、より知的で精神性の高い産業構造へと舵がとられることでしょう。獲得してきた科学技術とそれを利用する側の倫理・道徳観とのバランスを問い直し、新しい社会・新しい日本の姿を構想し、その実現に向けた努力が必要になります。本学は、このような歴史的な年に1,279名の卒業生を送り出し、新たに1,356名の学生を受け入れました。開学以来の累積卒業・修了生の数は39,900人となり、本年度末には4万人に達する見込みです。現在、学部は5学部9学科、大学院は2研究科5専攻から構成され、約5,300人が学んでいます。私たちは、「敬神愛人」を旨として、在学生一人ひとりに丁寧な教育を施し、時代と社会の要請に応える若者たちを育成してまいります。そして、従前以上に、社会から中部地域にある「キラリと光る大学」と認知されるよう努力して参ります。

本学は、同窓会と強い連携を維持しながら、大学の使命である教育・研究・社会貢献の3分野それぞれ活動を充実させたいと考えています。皆様には、本学へのご高配とご支援を賜りますよう、重ねて衷心よりお願い申し上げます。

絆を鍛えて、強靱なネットワーク作り

## 連携から生まれる相乗効果を考える

今年春、名古屋学院大学の体制が変わり、木船新学長が就任されました。厳しい経済環境と先行き不透明な社会情勢の中、木船新体制は名古屋学院大学をどのような方向に導いていくのか。

そして今、名古屋学院大学同窓会は母校発展の為に何が出来るか…。大学と同窓会が手を取り合い、強い絆を確かめ合う大切さを、伊藤理事長と木船学長、小川同窓会会長が語り合いました。

## 発展を支えるのは、 相互の密接な連携力

— 木船新学長が就任され、早くも半年が経過しました。これからの名古屋学院大学はどんな大学に変革を遂げていくとお考えか、お聞かせください。また、木船学長には簡単な自己紹介をしていただけますか。

木船学長（以下学長に略） 私が名古屋学院大学に赴任して、今年で19年目になります。学長としては若い年齢の部類に入ると思っています。同窓生のみならず、今後とも宜しくお願ひいたします。

それから本学をどのようにしていきたいかという話ですが、まず建学の精神である「敬神愛人」を大事に考える大学であることが重要です。そこに立脚した上で、他者を思いやる優しい心の持ち主を輩出する人間教育ができる大学を目指したいと考えています。



### DISCUSSION 座談会

出席者

小川博司

同窓会 会長

伊藤信義

学校法人

名古屋学院大学 理事長

木船久雄

名古屋学院大学 学長

須崎英晴

司会（同窓会 副会長）



## 同窓会ネットワークを 駆使し、さらに強い絆を



「キャンパスに立ち寄り、相互交流」という意味では同窓会も積極的に取り組まないといけないところが多々ありますね。

大学側から同窓会への要望等、忌憚のないご意見をお聞かせください。

**学長** この春、同窓会のメンバーで構成される「NGUエグゼクティブ同友会」の方々にゼミの講義内で「出前授業」をお願いしたことがあります。やはり、実社会では経験がモノを言いますから、現場の生の声は学生にとって値千金の価値があったと思います。この秋からはその枠を少し広げて、教職の「出前授業」的なものを立ち上げようとしています。同窓生の方々の中には教職に就いている人も100名近くいらっしゃるのです。是非とも同窓生の力をお借りできれば、と考えています。

今話したこと以外でも、同窓会の皆さんにはいろいろな形で母校に来ていただき、是非とも後輩達に叱咤激励をしていただきたい。

また就職面でのサポートもお願いできれば、より心強いですね。

**理事長** やはり同窓会があつて初めて現役生が活きてくると思います。今後とも同窓会との関わりを深めていきたいと思えますね。

**小川** 現役生の為に同窓会ができることは積極的におこなっていききたいですね。また、学長が計画されている教職関連とは違いますが、私たちは同窓会の事業別部会「不動産部会」を昨年立ち上げました。同窓会の活性化の為にも今後この動きを他業種へ広げていければと考えています。



**学長** できれば教職部会も作つていただけると非常に有り難いですね。

**理事長** 母校との関係をこれまで以上に密接な関係に構築していただけるよう行動していただけるかと信じております。大学側も情報を発信し続けますが、同窓会も情報発信をさらに活発にしていきたいですね。

**小川** これだけ学部が増えてくると、同窓会も学部別の代議員や理事の選出等を考えないといけないかもしれません。今後、名古屋・瀬戸、学部、卒業年度など、バランスの取れた体制が急務ですね。そして、私たちが現役生の頃には想像できなかった女子学生のみなさん。同窓会の運営に女性の同窓生がたくさん参加していただくような時期も必ず来るでしょうから、その時を見込んで今から取り組んでいきたいと思えます。

**理事長** いずれは学部別の同窓会や女子学生だけの同窓会もでき、細分化された同窓会組織の取りまとめ役が本部の同窓会となる時代が来るかも知れませんね。

**小川** 卒業生が約4万人となり、今後は同窓会のネットワークをいかに上手く機能させ得るかが重要なポイントだと思つています。大学とともに発展する同窓会であり続けるためにも、今後ともよろしくお願いいたします。

―ご多忙の中、多岐に渡りお話しいただきありがとうございました。

# 皆川 浩二

Koji Minagawa

## “Action! 「動けば変わる」”を掲げ、公共に益する公営競技に携わる

日本を代表する公営競技の一つ、ボートレース。マスメディアなどでよく見かける名前ですが、その内容や運営母体などは知らない方も多いと思います。今回登場していただく皆川浩二さんは、(財)日本モーターボート競走会で会長職を務めるボートレース界のトップの一人。どんな仕事をされて来たかなどを語っていただきました。

私がボートレース業界に入ったきっかけは、実家が愛知県常滑市にあることに起因しています。ご存知の方もいると思いますが、常滑市にはボートレース場があります。その運営をされていた役員の方から「我が地元からボートレースに携わる審判員とか、検査員になる人材が出て来てほしい。業界に就職してほしい。」というお話をいただき、では審判員の資格でも取得しようか。というのが私がボートレース業界に入るきっかけです。その当時は社団法人 愛知県モーターボート競走会という名称でした。

日本モーターボート競走会はレース運営を委託されている公益法人なので、そもそも利益を追求する団体ではありません。開催権はボートレースを実施している各地方自治体が持つており、私たちは主に公正なレース運営、選手や審判員などの養成、選手や



その後、総務関係部署に移り、様々な企画業務に携わり経験を積んで社団法人 愛知県モーターボート競走会の会長に就任した訳です。ボートレース場がある19の道府県の競走会を束ねるのが社団法人 全国モーターボート競走会連合会で、私はその役員も兼任していました。それが一本化され財団法人となったのが平成20年。その翌年に会長に選出され、現在に至っています。

ボート・モーターの登録、選手の各ボートレース場への斡旋などが法定業務です。収入に関する規定も法律で定められ、レース収益の多くは各地方自治体の財政に回ります。それぞれの地元



を運営する私たちの責務です。今はレジャーが多様化し、公営競技のファンが減少気味ですが、一人でも多くの方々に関心を持っていただけるように取り組んでいます。

私は“Action! 「動けば変わる」”をモットーに掲げ、すべてのことに挑戦する姿勢を心掛けて行動しています。今でも一ヶ月に10日程は全国のボートレース場を回り、改善できる点がないかチェックすることに余念がありません。いろいろなと厳しい時代ですが、私は3C(チャレンジ・チャレンジ・チャンス)の精神で乗り越えていきたいと日々努めています。自分の進みたい道にチャレンジし、そこでチャレンジすることで、活躍するチャンスができると確信しています。

最後に、同窓生の皆さんのご活躍と、同窓会のさらなるご発展を心から祈っております。

## OB's & OG's NOW 活躍する同窓生



Profile  
皆川浩二 氏

(70E)

財団法人 日本モーターボート競走会  
会長





# 中村規脩

Tadashi Nakamura



「コツコツと自分の夢をあきらめずにやる。」 起業家は“変人たれ!!”

テレビショッピング番組の「ショップジャパン」や、社会現象にもなった「ブリーズブートキャンプ」、最近では「ヒルズダイエット」「コアリズム」など、数々のヒット商品を誕生させて来た企業、株式会社オークローンマーケティングの創業者の一人、現相談役の中村規脩さんに話を伺いました。

私は名古屋学院大学を卒業後サラリーマン生活を送りましたが、自分でビジネスを手掛けたくなり小売業に進出しました。しかし、失敗し小売業から撤退。次に海外商品の並行輸入をやるうと考えました

が、輸入業ならば一人で始めるのではなく、外国人を共同経営者にした方がビジネス展開がスムーズに



回ると思い、パートナーを探していたんです。そして、異業種交流会で現会長のロバート・W・ローチと運命的な出会いを果たし、彼と2人で1993年5月にオークローンマーケティングを立ち上げました。創業当初はブランド商品を並行輸入して問屋に卸していました

が、ある商品を国内のテレビショッピング番組で紹介したことが縁で、本格的にテレビショッピング番組に進出することになりました。

私たちが行ったテレビショッピング番組は、インフォマーション(情報提供型ショッピング番組)という独特の手法を日本に導入したことで話題になりました。アメリカの番組をそのまま持ち込み、

日本語に吹き替えをして放送するという今では当たり前となっている手法ですが、当時は非常に斬新だった訳です。優れた商品を発掘して日本のお客様に紹介する、それがヒットし…。やがて会社は波に乗り、自社制作のテレビショッピング番組を放送できるまでになりました。言葉で言うと簡単なようですが、そこに至るには様々な困難がありましたね。日本で創業した企業ですが、

外資系でもあるという理由で、テレビ局との交渉は難航を極めました。交渉を重ねた結果、まずはケーブルテレビ局からスタートし、やがて地上波・BS・CSへと広がっていきました。テレビショッピング番組の「ショップジャパン」といえば、今では知っている方も多いと思います。オークローンマーケティングを創業し

て以来ひたすら走り続けて来ましたが、2009年4月に会社も私もも転機を迎えます。ローチ会長と共に保有していた株式をNTTドコモに売却。NTTグループの一員として再スタートを切りました。今は相談役として、そしてオークローンマーケティングのグループ企業である広告代理店の株式会社インターワールドの代表取締役として、会社の運営を見守っている次第です。私のこれまでの軌跡は山あり谷ありでしたが、

人生の支えにしてきた指針をあげるならば「コツコツと自分の夢をあきらめずにやり続けること。」です。例えば、起業しようという人はある意味“変人”でなければいけないのかもしれませんが、逆説的に言うと「変人であり続けること、最後まで。」です。

今の私は企業経営者としてよりも、ボランティア活動をする機会が多いですね。カンボジアやコロンビアなどに行き、社会貢献活動をしたこともありま

す。これからは世界を舞台に活動する時代です。同窓生の中でも若い世代の皆さんは機会があれば世界に出かけて、いろいろと経験して来てください。きっと将来の役に立つと思います。



## Profile

### 中村規脩 氏

(71E)

株式会社オークローンマーケティング  
相談役

株式会社インターワールド  
代表取締役社長

コロンビア共和国  
名誉領事

# 小林敬幸

Noriyuki Kobayashi

国際派の経営感覚を持ち、世界に雄飛。モットーは「士魂商才」

「健康と環境」をテーマに優れた品質の生活関連用品を企画開発し、消費者に届けることを目的とする株式会社三栄コーポレーション。創業65年を迎える歴史を持ち、ジャスダックの上場企業の代表取締役を務める小林敬幸さんに、ご自身の経歴や会社の事業内容を語っていただきました。

私は株式会社三栄コーポレーションに入社して30年余になります。母体となった企業は、まだ戦後の混乱が続く1946年、大阪で創業しました。その後、東京と名古屋の雑貨の輸出商社と合併し、1961年に三栄貿易株式会社が生誕。現在の社名に改称したのは1971年です。当社は元々、雑貨などを主体とする輸出商社でしたが、今では輸入商社としての顔も持ち、「健康と環境」をテーマに、ものづくり（OEM事業）とブランドづくり（ブランド事業）の2つのビジネスモデルを展開しています。

そもそも私が当社に入社するきっかけは、父親が貿易業を営んでいたこと、周りの先輩の中にも雑貨の貿易業に携

わの方が多かったことが上げられます。

いずれは父親の後を継ごうかと思っ  
ていて、貿易の勉強  
をする為の就職先  
を探していた時に、周りの先輩方から  
「雑貨の貿易をしたいなら、絶対三  
栄に入れ。」と言われ入社試験を受け  
ました。その昔、当社は「三栄スクール」  
と呼ばれる、知る人ぞ知る会社でした。  
ですから私は今の会社しか就職試験  
を受けていません。



名古屋学院大学卒業後、入社して

配属されたのが名古屋支店。当時は  
瀬戸・多治見・瑞浪の陶磁器を欧米向  
けに輸出する業務に携わっていました。  
私の主な担当地域はアメリカだったので  
呼び水となります。名古屋支店で4年  
程勤務した後、アメリカ・シカゴへ転勤  
の辞令が下ります。アメリカ・シカゴを  
皮切りに、台湾、台北、アメリカ・ミネア  
ポリス、タイ・バンコク、シンガポール、アメ  
リカ・ニューヨークと実に19年間もの  
年月を海外で勤務しました。9年前に

やっと日本に戻り、東京本社勤務となっ  
た訳です。そして、2011年1月に  
当社の代表取締役就任しました。私  
は輸出に関わる海外での営業担当が  
長く、日本の方に商品販売すること  
がゼロ経験でしたので、9年かかって、  
やっと日本でのビジネスを覚えてきたよ  
うな状態です。

そんな私のモットーは「士魂商才」。  
長い海外赴任の中で会得した心構えが、  
日本人の魂（「プライド」）を持ち、商売  
をすること。プライドを捨ててまで、遮  
二無二ビジネスに走るのはいただけない  
など…。いつもこの言葉を念頭に起き  
ながら、企業経営に取り組んでいます。  
そして、目標はもちろん売り上げアップ。  
早くから海外進出した当社の強みを  
活かし、さらにソーシングと生産管理  
力を磨いて、世界で戦える高収益体  
質の企業に育てていきたいと考えてい  
ます。

同窓生のみなさんで一般生活関連  
用品に関わっている方がいらつしゃれば、  
声をかけてください。私はビジネスチャ  
ンスがあれば、誰でもウェルカムです。是  
非一緒にコラボレーションをしましょう。



OB's & OG's NOW 活躍する同窓生



Profile

小林敬幸 氏

(79E)

株式会社三栄コーポレーション  
代表取締役社長



# 石原 慧子

Saroko Ishihara



## 「卒業したくない」と言われる地域密着型の自動車学校

「活躍する同窓生」に女性が初登場。経済学部経済学科を卒業して現在、株式会社安城自動車学校の代表取締役を務める石原慧子さん。他地域の自動車学校とは一線を画した特色のある自動車学校づくりに邁進する、若き女性経営者にお話を伺いました。

私は名古屋学院大学の卒業生ですが、実は4年間通っていたのではありません。元々、他大学に入学して経済や経営の勉強をして



ていましたが、自分が学びたい内容とは異なるカリキュラムだった為、思いきって3年生の時に名古屋学院大学の編入試験を受けて入学しました。しかも実質は1年半しか大学に通っていません。4年の前期で単位をすべて取得し、卒業までの半年間はアメリカのニューヨークに留学していました。というところかぬるま湯的な留学であるように思えるかもしれませんが、時期は2001年9月のこと。同時多発テロが起きた翌日に渡米する予定でした。当然、渡米できる訳ありません。しかし、飛

行禁止が解除され、一番早くフライトできる便でニューヨークに向かったのは9月20日。最初の2週間だけ知人の家でお世話になり、その後の住処となる家は自分で探しました。留学を斡旋する代理店を使わず、渡航準備も、留学先の大学も自分で手配しました。当時は街中にヘリコプターが飛び交い、夜はサーチライトで照らされたりする状況である意味大変でした。卒業までニューヨークということは、私は日本で卒業を書く時間がなかった訳です。その際、ゼミの水野先生から「卒業論はニューヨークでもでき、今このときだからその内容を書いてください」と毎週メールでご教示いただきました。ニューヨーク滞在レポートが、最終的に卒論となりました。一度しかない人生の貴重な体験を、後押ししてくださった水野先生には大変感謝しています。

大学卒業後、まず私は名古屋市内の自動車学校に就職し、自動車学校運営のノウハウを吸収しました。そして、株式会社安城自動車学校に正式に入社いたしました。当社は私の祖父が創業した自動車学校でした。入社後、まず取り組んだのが会社のブランディングです。今後も地域の方々に親しまれ、

愛される企業体となることを願い、ロゴや会社のコンセプトを見直しました。キャッチフレーズは「コアラドライブ (Coara Drive)」。コアラは安全の象徴とも言われ、地域の交通安全を担う当社の使命にぴったりでしたので、ロゴにも採用。そもそもコアラの綴りはKoolanaなのですが、これをカンパニー (Company)、コミュニケーション (Communication)、コラボレーション (Collaboration) の意味を持たせたCoaraという造語を使用しています。私が目指す企業とは、単なる自動車学校ではなく、地域の方々はもちろん世の中に役立ち、皆様に少しでも喜んでいただける事業を行う組織です。まだまだ私は経営者として経験・知識共に未熟ですが、社員と一緒に、目指す企業像に到達する為に努めていきたいと思っています。

私の好きな言葉は「動機善なりや、私心なかりしか」。これは私が敬服する実業家の稲盛和夫氏にいただいた言葉で、いつもこれを噛み締めながら日々を過ごしています。

最後に、水野ゼミ生として水野先生には本当にお世話になりました。この場をお借りして感謝申し上げます。



Profile

石原 慧子 氏  
(02E)

株式会社安城自動車学校  
代表取締役社長

# 支部会だより

## 関東支部 新支部長就任の ご挨拶



関東支部 支部長  
吉田 眞一郎  
(72E)

時下、同窓会員の皆様にはますますご健勝のことと心よりお喜び申し上げます。

このたび平成22年度関東支部総会にて新支部長に選任されました吉田眞一郎(72E)です。

ご挨拶の前に東日本大震災に対し、深く哀悼の意を表すとともに被災者の方々には心よりお見舞い申し上げます。そして一日でも早く復興できることを祈りいたします。

関東支部の発展のために尽力された歴代支部長の後を引き継ぐことになり、身が引き締まる思いです。榊原前支部長、幹事さん含めて会員皆様のご支援とご協力を得て、微力ではありますが一生懸命努めてまいりますのでよろしくお願いたします。会員の皆様には改めて自己紹介

をさせていただきます。72E卒業(昭和47年)後は、地元にはわずるかばかり居住してから東京勤務となり現在に至っております。すっかり関東の人となり、現在は横浜市に居住しています。趣味は旅行と阜の盆栽、ハイキングです。

同窓会への参加経緯は案内状を頂いていましたが不参加で、年齢とともに一度参加しようと思いましたが、会員皆様の受入が気持ちよく、何度か参加するようになりました。

これからの参加したくなる企画を立て盛り上げていきたいと思えます。名学院OB会を夢や展望を語りあえる様、会員一人ひとりの結果を望みます。

### 「関東支部OB会に向けて」

1. 会員一人一人の力で関東支部会へ多数の会員皆様の出席を望みます。目標は50名出席を3年以内としたい。
  2. 自らも楽しみながらのOB会交流としたい。多くの経験と特性を持ちより、会員相互の情報収集と交流を図る。
  3. 支部会活動への参加のしやすさを追求する。
- 以上、幅広い会員の参加を得て活動し、社会的にも貢献できるように日々の仕事や勉学を通じ共に活動できることを喜びとしたい。

## 第3回 富山支部会の開催にあたり

富山支部 支部長 小山民夫(74E)

## CLUB & CIRCLE OB&OG, SEMINAR REPORT クラブ&サークル,ゼミナール短信

### ソフトテニス部第6回OBG会総会の報告

6月18日に、名古屋・栄の「上海湯包小館 栄本店」にて第6回OBG会総会を開催しました。参加者は18名。近年、特に参加者が少なくなり、OBG会を盛り上げるためには若い年代に参加をアピールすることが必要という見解で一致。来年の創部45周年総会の成功に向けて、みんなで努力することになりました。

また、今総会では68年卒から99年卒まで多彩な年代が集まり、昔話を懐かしんだり、各自が近況報告を行うなど、大変楽しく大いに盛り上がりました。

若い年代の方の参加についてはもちろん、住所変更ご質問、お問い合わせなど何でもかま

### 軽音楽部OB・OG会開催のお知らせ

私、団塊世代、つい先日でも後輩、家族に馬鹿にされながらもカラオケで、青春歌謡を唄いつづけました。心のなかで、(君たちが、お前たちが、数十年後に唄える曲があるのか?)と問いかけながら。きっかけは、

1 通の案内状から。2003年のOB会の参加がきっかけとなり、30年ぶりにバンドを結成しました。現在も続けております。OB、OGの皆さんもそれぞれ活動されているとの報告を受け、大変うれしく思っております。

今年2011年は、2003年以後2年毎に開催しているOB・OG会開催の年にあたり、この秋に盛大に開催します。



いません。お気軽に事務局までご連絡してください。

名古屋学院大学ソフトテニス部OBG会  
事務局長 箕形光正(70E)

●事務局/箕形(みかた) 光正  
TEL 052-913-0006  
携帯電話 090-2946-1984  
携帯メール  
mikata@kph.biglobe.ne.jp

会員の方々には、是非参加、そして益々の協力をお願いいたします。

名古屋学院大学軽音楽部OB・OG会  
会長 江川 幸人(72E)

- 日時/2011年11月27日(日)午後2時~午後5時
- 会場/Jazz club Mr.Kenny's  
〒460-0023 名古屋市中区金山5-1-5 満ビル2F
- 会費/4,000円
- 参加申し込み先  
Eメール ngulmc\_obog@yahoo.co.jp  
FAX 052-762-3107  
URL http://blogs.yahoo.co.jp/ngulmc\_obog  
(名古屋学院大学軽音楽部OB・OG会 - Yahoo!ブログ)

# 事業別部会だより

## 名古屋学院大学同窓会 事業別部会 不動産部会

名古屋学院大学同窓会不動産部会 広報委員長  
杉山 孝守 (94E)

みなさん、こんにちは。富山支部長の小山と申します。よろしくお願ひします。  
この度10月8日(土)に、第3回富山支部会を行います。毎回20数名の参加で仲良く元気にやっております。懇親会では先輩後輩関係なく、気楽に仕事や様々な話で盛り上がり上げています。

結成して間もない支部会ですが、非常に協力的な方々に恵まれ運営されています。願わくばもっと沢山の同窓生が集まり、語り合い、お互い協力し合い、助け合って発展していければと思っています。  
富山に限らず同窓の方であればどなたでも参加していただき、輪を広げていきたいと思っています。

昨年、名古屋学院大学同窓会内に不動産部会が設立されました。現在42名の会員にて活動しています。今年度は6月3日に総会、8月27日品野台カントリークラブにて親睦ゴルフ会、9月2日夜に懇親会を行いました。以後は次の行事を予定しております。

10月30日 ホームカミングデーの  
お手伝い  
1月 他大学との懇親新年会  
3月 情報交換会

私は不動産部会広報委員会の委員長の三杉地所(株)の杉山と申します。広報委員会は不動産部会のPRを通じて、不動産部会の発展と、新



規入会者の募集を目的としています。先日も名古屋学院大学以外の不動産部会との合同懇親会がとり行われました。様々な不動産会社の方々がお集まりになりました。私にとってもプラスになりました。その他ゴルフ会、ホームカミングデーなどの参加を通じ、同窓会の良さを全面に出した有意義な不動産部会になっていると思います。今回、私自身が不動産部会の委員として活動して感じたことは、部会員同士のまとまりが良く、諸先輩と気さくにお話ができることは幸せの一言ということでした。経験がものを言う不動産業界、この風通しの良い環境のまま、さらに発展していってほしいと思います。

# マンドリンクラブOB会の活動について

全国各地でご活躍の200名を超えるOB会員の皆様へご挨拶申し上げます。

昨秋は久方振りの懇親会に多数ご参加頂き、一堂に会した有意義な時を過ごすことが叶い感謝申し上げます。今後一層の充実を図りたく、ご協力の程宜しくお願い致します。

さて私共OB会の今後



お問い合わせ先  
Eメール a43h7r@bma.biglobe.ne.jp

の計画ですが、これより「名古屋マンドリンクラブOB会オーケストラ(仮称)」を立ち上げ、更なる交流の拠り所と致したくここに提案申し上げます。名古屋学院大学の掲げる「FROM HERE」の精神で共に始めたく思いますので、是非多数のご意見や近況報告などをお寄せください。  
それでは皆様堅固にて再会を楽しみに、失礼致します。  
織川 学(74E)

# グリーククラブOB会「名唱会」活動報告

グリーククラブOB会は「名唱会」という名前でも今も活動を続けています。去る6月11日に総会を行い、30名近いOBの方達の出席をいただきました。総会の内容としては名唱会規約の見直し、演奏会に向けて、その他の3項目について話し合われました。

名唱会は当初現役部員との交流、援助を目的として活動をしておりましたが、グリーククラブが廃部になってしまいましたが、校歌「曙の蒼空」を唱歌できる唯一の団体として存続することを誇りに活動を続けていくことで決意を新たにしております。中等部、高等部のグリーククラブが廃部になってしまったことは大変残念で大きな事件でもありました。昨年は日程の関係で断念せざるを得なかったホームカミングデーでの演奏も、今年は会員一同が胸を張って参加できると思っております。



- 練習日/毎月第一、第二、第四土曜日 18:30~20:30
- 練習場所/六反コミュニティセンター 名古屋市中村区名駅南4丁目4番地
- 連絡先/松永鐘治 (79E) 080-3628-0459 平野孝佳 (83E) 090-8734-3513
- URL <http://meisyokai.mediakat-blog.jp/>
- Eメール [eternal\\_pinecone@mediakat.ne.jp](mailto:eternal_pinecone@mediakat.ne.jp)

年齢を重ねても錆びていない歌声で響く、校歌「曙の蒼空」をお楽しみいただけると思います。名古屋学院大学グリーククラブOB会「名唱会」 広報書記 松永鐘治(79E)

# 林順一教授のゼミ生の集いについて

10月30日(日)、名古屋学院大学白鳥学舎にて行われる「第19回ホームカミングデー」の終了後、14時から「翼館」2階ラウンジにて、林順一

教授のゼミ同窓生の集いを企画しました。皆様のご来学をお待ちしております。  
生駒豊作(70E)

# 2010年度 事業報告

## ▶ 総務委員会

- ◎卒業記念品の贈呈
- ◎優秀クラブ表彰(19クラブ)

## ▶ 広報委員会

- ◎会報22号の発行  
ホームカミングデーの無料招待チケットを同封し、3万部を製作し9月末に発送を行った。

## ▶ 情報委員会

- ◎同窓会ホームページの更新

## ▶ 支部委員会

- ◎支部活動の支援  
関東支部・福井支部・石川支部・富山支部が支部会を開催
- ◎業種別事業部
- ◎不動産部  
設立総会及び懇親会の開催、三大学(愛大・名城大・名院大)合同懇親会の開催

## ▶ 事業委員会

- ◎第18回ホームカミングデーの開催  
2010年11月14日(日)白鳥学舎1階レストラン・翼館「ワールドダンスフェスティバル」をテーマに、縁日風屋台やアトラクション・抽選会などを企画。同窓生・家族・教職員との懇親会を開催。  
参加総数564名(卒業生265名 家族227名 来賓・教職員37名 在校生35名)

## ▶ 大学協力委員会

- ◎2010年度 大学フェアin金沢 開催への協力
- ◎エグゼクティブ同友会への協力

以上の活動を中心にしています。各会議の議事録、決算書、規約等を確認されたい方は、ご面倒ですが事務局にお問い合わせください。

なお、理事は代議員の互選により選出し、總會の了承を求められた者であり、代議員は各卒業年次の会員から改選前の理事会で選出された者であります。

## 同窓会運営の報告

同窓会の事業は年に2回の代議員会と9～10回の理事会で十分に協議・審議され、運営されています。各委員会が設けられ、その中から事業計画案及び予算案を検討した上で会議に提出され、議論を重ねて遂行しています。

## REPORT

## ▶ 同窓会終身会員について

同窓会では、学生・卒業生への援助、また、会報の発行、同窓生の集い「ホームカミングデー」の開催などさまざまな活動を行っておりますが、その会計は、卒業生からの入会金・会費で運営されております。最近では大勢の卒業生の皆様に同窓会運営にご協力いただけるようになり、このつながりを広げて行きたいと考えております。

さて、1996年度より、正会員のうち、年会費5年分(1万円)以上を納入していただいた方及び同年度3月以降卒業の方を終身会員とし、その方には今後年会費の請求をしないこととなっております。なお、1991年3月時点で敬愛同窓会の終身会員であった方は、当大学同窓会の終身会員とみなすことと致しましたので宜しくお願い致します。

## ▶ 年会費のお願い

大学同窓会は、卒業生の皆様の会費で運営されております。今後、大学をもちたて、同窓会ネットワークを充実させるためには、是非しっかりした財源が必要です。なにとぞご理解の上、ご協力賜りますようお願い申し上げます。

会費は、同封の振込用紙をご利用の上、一口以上のお振込をお願い致します。

- 年会費一口 2,000円
- 終身会員費 1万円

既に終身会員の方は不要です。

# 第47回名学大祭開催

10月29日(土)・30日(日)



昨年の名学大祭の様子

テーマ

てのひら

掌

—かさなる想い—

「二人一人異なった曲線を刻んだ手のひら。手のひらに持つ模様がぴったり重ならなくても、手を取り合えばどんな困難も乗り越えてゆけるはず。第47回名学大祭が明るい未来を描きだすきっかけとなりますように」という想いが込められています。

そして今年も「ゴミ箱ゼロの大学祭」。リユース食器を使用、回収・洗浄して再利用し、ゴミを出しません。生ゴミもミニズコンポストで堆肥にします。エコ企画やステージイベント、模擬店、ゲームやわんぱく企画に加え、今年は装飾に力を入れ、卒業生や地域の皆様に大いに楽しみ、交流を深めていただけるよう準備をしています。

ぜひご来場ください。お待ちしております。

## 第5回瀬戸キャンパス祭

10月15日(土)

テーマ

瀬戸から日本を  
明るくします宣言!!



昨年の瀬戸キャンパス祭の様子

アーティストに「ソナーポケット」を迎え、多数のバンドやダンスでステージを盛り上げます。また、様々なアトラクションも用意。大人も子供も思い切り楽しめます。ピンゴもありますよ。そして、昨年以上の数の模擬店を準備しています。食欲の秋を堪能してください。瀬戸のパワーを全開にしてみなさんに笑い、感動、おいしい秋をお届けします。

また、瀬戸キャンパスならではの健康チェック企画も実施します。骨密度やパッチテストなど、この機会に自分の身体を見つめてみませんか？

東日本大震災のチャリティー企画も行います。皆さんのメッセージを被災地の方々へ届けましょう。

ぜひ、お越しください。

### CAMPUS FLASH

## 総合政策学科が誕生、スポーツ健康学部は 定員増をします

2012年4月、経済学部政策学科が『総合政策学科』に生まれ変わります。

環境問題にせよ、少子化問題にせよ、現代社会の問題はさまざまな要因が絡み合っており、こうした問題を解決に導くのに必要なのは経済学・

法学・行政学・社会学などの幅広い知識と実践力を備えた人材です。総合政策学科は、こうした総合的で広範な知識と高い問題解決能力を備えた人材

の養成を目的とします。また、公務員試験などに役立つようにもカリキュラムが編成されていますが、試験への対応を視野に入れ、「公務員特別プログラム」を通して、国家・地方公務員、NPO職員など公共機関への就職をサポートしていきます。

さらに、スポーツ健康学部では同じく来年4月から定員を、現在の100名から120名に増やします。どうぞ周囲の方々にも受験をお勧めください。

## リハビリテーション臨床実習と医療拠点として 健康センターを建設!!(瀬戸キャンパス)

瀬戸キャンパスは広大な校地と恵まれた自然環境を生かして、スポーツ施設や実験実習施設などの充実を進めており、スポーツ健康学部とリハビリテーション学部の教育に成果を上げていきます。

今年度はリハビリテーション教育の実践拠点として診療所と通所リハビリテーションセンターの機能を併せ持つ『健康センター』を建設しています。施設は10月中に完成し、診療所は今年11月から、通所リハビリテーションセンターは2012年度当初から本格的に稼働し、学生の臨床実習や教員の臨床研究を強力にサポートするとともに、地域の医療・福祉を支える拠点として多くの医療機関や福祉施設などと連携しつつ活動します。もちろん

在学生の健康管理や緊急時の対応も分担し、理学療法を学ぶ学生だけでなく、健康運動教育・健康指導・スポーツ活動時の医療支援などにも積極的に対応する予定です。

外来の一般診療も行いますが、診療科は当面、リハビリテーション科、整形外科、リウマチ科です。同窓生の皆様もどうぞご利用ください。



## ボランティア第三ステージとしての震災ボランティア

「敬神愛人」を建学の精神とするキリスト教主義の本学には、ボランティアの伝統があります。その伝統と現在取り組まれている震災ボランティアを紹介し



### 第一ステージII ボラセンCWB部

名古屋学院大学での学生ボランティア活動は、2000年ごろまで継続性のある組織的な取組は行われていませんでした。ところが、まちづくりサークル「人コミュニケーション同好会」が2001年4月発足し、瀬戸・銀座通り商店街を拠点として活動するようになってから、地域からのボランティア要請がこのサークルや大学に来るようになりました。地域のボランティアのニーズとボランティアをしたい学生とのマッチングの必要から、次第に大学でのボランティアセンターの必要性が高まってきました。そこで当時ボランティア活動を

行っていた学生たちが中心となり、2002年3月に、大学の許可を得て、ボランティアセンターを研究館1階の空き室に開設し、またその運営サークル「ボランティアセンター・コーディネートネットワーク」(通称ボラセンCWB)がボランティアセンターを運営する形で、本学で初めてのボラ

### 第二ステージII 愛・地球博

この頃が本学のボランティア活動の第一ステージとするならば、第二ステージは、2005年に愛知県で開催された「愛・地球博」の頃です。さまざまな学生主体のボランティア活動が行われる中、教育的な視点でそれをサポートする必要性を感じていた教員たちによって、2004年度から講義形式の「ボランティア学」、2005年度から実践活動を中心とした「ボランティア実習」の2つの授業が共通教育カリキュラム内に新設されました。「愛・地球博」では1000名を超える学生が、会場内外にてボランティアとして活躍し、また授業にてボランティアの意義を学ぶとともに、活動を通じての学び・気づきや課題を共有し、理解を深めました。

### 第三ステージII 震災ボランティア

そして、今回の東日本震災ボランティアが第3ステージとして位置づけられます。震災から12日後の3月23日、名古屋に本部を置く災害ボランティア団体レスキューストックヤード(以下、RSY)が宮城県七ヶ浜町に支援拠点を築くための先遣隊を派遣しました。ボラセンCWB

の学生がその先遣隊に参加しました。そのおよそ3週間後に、ニュージブラント短期留学プログラム中に被災したMさんが、S↑プラッツ(学生支援センター)の呼びかけに応じてRSYの七ヶ浜ボランティアに参加しました。この時の模様はNHKナビゲーション「東日本大震災 被災者をどう支えるのか」(4月15日放送)で紹介されましたので、ご覧になられた同窓もおられるのではないのでしょうか。その後、S↑プラッツのコーディネートで毎週1名の学生が七ヶ浜で活動をしています。このRSYの現地ボランティアに参加した学生が中心になって、東日本大震災復興支援チーム「あすなる」が結成されました。(なお、この学生団体は7月にこれまでの活動が大和証券福祉財団によって評価され、活動助成金を受けました。)

4月下旬に、学長が委員長となる東日本大震災被災者支援委員会が立ち上がり、教務部長のリーダーシップのもとで、学生の震災ボランティア支援プログラムが次々と打ち出されました。その中で、夏休みの震災ボランティア活動が「ボランティア実習」を特別開講した形で実施され、94名の学生が、宮城県七ヶ浜(RSYに協力)および気仙沼(東北学院大学・大学間連携プロジェクトに協力)での震災ボランティアとして活躍しました。これ以外にも前述のボランティアなどで約30名の学生が活動しました。

七ヶ浜では本学の学生が、在宅避難者(自主的に避難所から出て賃貸住宅や知人宅に暮らす被災者)のコミュニケーションの場として「名古屋カフェ」を毎週土曜日に開催し、今後の支援活動のための聞き取り調査を行っています。

## 教育研究振興資金 募金のお願

名古屋学院大学は、今年度創立47周年を迎えました。これもひとえに皆様方の厚情の賜物と深く感謝申し上げます。引き続き本学の教育活動の一層の充実と発展のため、何卒ご協力を賜りますようお願い申し上げます。

### 募金要項

#### ご送金方法

郵便局からお振込みください。  
郵便振替 00890-9-80542  
口座名義 学校法人名古屋学院大学  
免税措置 募金金額により所得税法の免税の措置が受けられます。

#### お問い合わせ先

名古屋学院大学 財務課 募金係  
〒456-8612 名古屋市熱田区熱田西町1番25号  
TEL 052-678-4084

## 横井名誉教授(元理事長・学長)が叙勲受章

2011年度春の叙勲で、横井弘美名誉教授(元理事長・学長)が瑞宝中綬章を受章されました。また、梅津和郎元商学部教授も同章を受章されました。

例年、春の叙勲は4月下旬頃に発表されますが、今春は東日本大震災の影響で延期されており、6月18日に発表されました。



## 2011年度入試結果と 2012年度入試に向けて

2011年度入試についても、長引く経済不況により、安全志向・地元志向・受験校の絞込みが続き、いわゆる中堅大学において志願者数を集める結果となりました。

そうした状況下において、本学の総志願者数は4,821名となり、前年度より975名(25.4%)の大幅増となりました(下表参照)。この総志願者数は、本学において、1999年以來の志願者数となっており、結果、入学定員を上回る入学者を迎え入れることができました。

次に、2012年度入試について変更点を中心にご報告いたします。

①AO入試について、2012年度入試ではこれまでのセミナー方式とプレゼンテーション方式の2方式をセミナー型のみの方式とします。内容については、昨年までのセミナー方式とほぼ変わりなく、3日間の授業・小テストの総合評価、または2日間の授業十最終日の課題確認テストでの評価とします。

9月1日(木)より出願が開始され、9月18日(日)・19日(祝)・24日(土)の3日間が入試日となります。

②一般推薦入試(前期)においては、リハビリテーション学部において小論文十面接型を導入します。昨年度までは、基礎学力テスト十面接型の実施でしたが、他学部同様、小論文型を実施いたします。

③一般推薦入試(後期)については、昨年度まで、受験科目が小論文十基礎学力テスト十面接でしたが、基礎学力テストと面接での受験とし、小論文を廃止しました。年内に合格の出る最後の入試がより受験しやすくなりました。

④一般入試については、昨年度同様、前期日程と中期日程において、同一日・同一学部内での2教科型と3教科型の併願を可能とします。1回の受験で、2回の判定が行われます。さらに、センター試験利用入試を前期・中期・後期と3回実施し、2回目の受験料を5,000円に大きく減額します。たとえば、一般入試の前期日程を同一日併願し、センター試験利用入試(前期)もあわせて出願すると、50,000円の検定料で3つの合否判定が行われ、合格率をぐっと高めることができるでしょう。また、センター試験利用入試を2期から3期に増やすため、センタープラス方式入試は廃止します。

以上ですが、2012年度入試要項の詳細は、2012年度入試ガイド・各種入試要項を入学センターまでご請求ください。

## CAMPUS FLASH

### ■2011年度入試結果(各入試区分を合算)

人(女子は内数)

学部	学科	志願者				合格者				入学者			
		2010		2011		2010		2011		2010		2011	
		全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子	全体	女子
経済	経済	1,220	114	1,360	140	619	73	631	73	341	37	304	32
	政策	376	51	581	91	301	36	314	50	194	17	164	18
商	商	693	161	733	177	359	95	346	109	252	69	232	74
	経営情報	236	50	404	71	179	46	205	45	113	26	123	23
外国語	英米語	440	266	535	258	274	168	296	135	130	83	139	66
	中国コミュニケーション	78	33	162	92	76	32	84	41	46	19	58	28
	国際文化協力	106	67	152	92	104	69	132	85	49	30	55	31
スポーツ健康	スポーツ健康	396	53	482	94	189	31	164	41	133	21	109	23
リハビリテーション	理学療法	301	77	412	111	143	42	169	65	84	20	93	29
総計		3,846	872	4,821	1,126	2,244	592	2,341	644	1,342	322	1,277	324

※第2~3志望合格者は合格学科に算入。

■第2~3志望合格者は合格学科に算入。

### ■2011年度オープンキャンパス(一般入試・センター試験利用入試対策説明会)

(名古屋キャンパス) 11月26日(土)

### ■2012年度入学試験日程

試験区分	試験日
AO試験(セミナー型)	9月18日(日)・19日(月・祝)・24日(土)
海外帰国生徒特別試験(前期)	9月18日(日)
社会人特別試験(前期)	9月18日(日)
編入学一般試験(前期)	9月18日(日)
外国人留学生一般試験(前期)	9月18日(日)
指定校推薦入試	11月6日(日)
一般推薦入試(前期)	11月5日(土)・6日(日)
スポーツ推薦入試(前期)	11月5日(土)
一般推薦入試(後期)	12月10日(土)
スポーツ推薦入試(中期)	12月10日(土)

試験区分	試験日
一般入試(前期)	1月30日(月)・1月31日(火)・2月1日(水)
一般入試(中期)	2月15日(水)
海外帰国生徒特別試験(後期)	2月15日(水)
社会人特別試験(後期)	2月15日(水)
編入学一般試験(後期)	2月15日(水)
外国人留学生一般試験(後期)	2月15日(水)
一般入試(後期A日程)	2月28日(火)
スポーツ推薦入試(後期)	2月28日(火)
一般入試(後期B日程)	3月12日(月)

※上記のほか、センター試験利用入試(前期・中期・後期)も実施します。個別試験は実施しません。

## 2011年度 名古屋学院大学 インターンシップ 受け入れのお願い

### 学習意欲あふれる後輩の インターンシップ受け入れを!

学生が在学中に企業等において就学体験を行うインターンシップに対する学生及び社会の関心が高まる中、各大学の支援体制や地域の推進活動も充実してきています。また、昨今の経済・社会環境の劇的な変化に伴う変革期に、インターンシップを活用した積極性・創造性豊かな人材が活躍する社会・時代を作り上げるよう、産学官協同の重要性が改めて叫ばれています。

本学でも、インターンシップは学生のキャリア形成において重要な位置を占めており、全学年・全学部の学生が参加できます。また、全学部・学科で単位認定を行っています。2010年度は170名の学生が参加いたしました。

今後とも意欲のある学生がインターンシップに参加してくれるよう、大学としても体制を強化していきたいと考えています。そのためには、今以上に学生を引き受けていただく企業を増やしていく必要があります。同窓生の皆様には是非

とも本主旨にご理解をいただきたくお願い申し上げます。

### インターンシップとは

学生が企業等において就学体験を行う制度です。産業の活性化とそれに応える教育の改革を視野に入れたインターンシップは、今、産業界および教育現場の熱い注目を集めています。

### インターンシップのメリット

#### 企業のPR効果

参加学生による口コミ、キャリアセンターからの学生への宣伝告知力があります。

#### 優秀な人材の確保

学生の資質や特徴を見極める方法や基準作りの参考になります。

#### 職場の活性化

若手社員の研修としての位置付け、学生による業務改善点の指摘などが見込めます。

#### 大学とのコミュニケーションの構築

大学・学生への貴社認知度の向上は、採用活動にも

有益となります。



## 2011年度名古屋学院大学 インターンシップ(春季)概要について

### 期間

春季/2012年2月上旬~2月下旬

### 実習

上記期間中の2週間(実動10日間)

### 待遇

「通勤費」「手当」「食費」について、原則として支給していただくことなく結構です。

### 保険

インターンシップ実施期間中の事故(通勤および実習中)については、本学で学生教育研究災害傷害保険および学研災付帯賠償責任保険に加入しています。

### 募集学年・学部

全学年・全学部の学生を対象としています。  
(春季は1~3年生対象)

### 募集方法

本学キャリアセンターが、受入企業・団体一覧を学生に開示。参加を希望する学生には、希望の実習先名や参加動機、実習目標、自己PRなどを記入する「インターンシップ参加申込書」(本学所定様式)を提出させます。

### 学生の選考

本学教員が面談・選考いたします。

### 誓約書

実習期間に知り得た機密および個人情報の守秘義務を守るため、実習生は誓約書を提出します。

### 覚書の締結

企業・団体と本学との間で、インターンシップの実施にかかる取り決め事項の確認をいたします。

インターンシップ受け入れの詳細は、名古屋学院大学 キャリアセンターまでお問い合わせください。

### 名古屋学院大学 キャリアセンター

TEL 052-678-4090 E-mail career@ngu.ac.jp

インターンシップを経験し、実社会にふれた学生の体験談を紹介します。

## インターンシップ 体験者の声



研修先  
岡崎商工会議所  
参加学生  
深田 崇さん  
(経済学部政策学科)

### 学生のうちに社会を体験できるチャンス

インターンシップに参加した理由は、①実際に働く現場の雰囲気と人間関係を知りたかったこと②これからの就職活動に活かせるような情報を得て視野を広げること③実習先で人々との交流を通して今の自分に何が足りないかを知ることです。実習を通して今の私に何ができるか、私の至らないところをどう改善していけばいいのかを見つけたら、私にしたいと考え、参加しました。

研修の内容は、岡崎商工会議所が主催する講習会の参加者受付です。そのほかにも電話応対のマナー研修、確定申告の相談者受付、確定申告の決算書の内訳が正しいか確認作業をしました。また、休憩や実習終了後の時間を利用して、職員の方へのインタビューという形で話を聞かせていただくことができました。私が実習を通して感じたことは、気付け方が足りないことです。私が上司やお客様に対しての言葉遣いが悪かったことに気付かなかったことがあり、相手の立場に立って考えることの大切さを実感しました。また、職員の方のインタビューを通して多様な意見や考え方を知ることができ、今の自分にはない考え方を持っている人たちと交流することができて非常に良かったと思います。インターンシップは普段の学生生活では経験することができない貴重な体験でした。積極的に実習に参加したら、実習で得る成果が何倍も違ってくるのかわかりました。

## 名古屋学院 トピックス

### 名古屋中学校 名古屋高等学校



「創立120周年記念事業」として始まった名古屋中学・高等学校校舎建設も、2011年3月末日に新校舎献堂式を行い、今年度は真新しい校舎で新入生を迎えスタートしました。引き続き工事は、旧2号館・3号館の取り壊しと、その跡地に「北グラウンド」の整備が開始され、8月11日にはサッカーラグビーの公式戦が可能で人工芝グラウンドが完成しました。体育の授業は勿論、部活動にもフル活用できる施設となりました。また、新旧二つのグラウンドの周りに1周が約540mの全天候型ランニングコースも完成しました。近年、学校の回りも住宅が増え地下鉄利用の歩行者も多く、生徒が学校外に出てランニングすることが安全面など、心配な状態が続いておりました。しかし、このランニングコースの完成で安心して、また安全にスポーツのできる環境が確保されました。

2008年に始まったこの記念事業も、同窓生をはじめ多くの皆様のご協力とご支援によりここまでに至りました。街中にありながらこれほどの学習と運動スペースの整った中学・高等学校は、県下はもとより全国的にも類を見ない最高のキャンパスが整ったと自負しております。今後も、本校に集う生徒たちの夢と希望を、この施設を十分に活用することで、それを可能にする本校の教育内容に大きな期待がかかっています。

学校は、建学の精神である「敬神愛人」の教えと教育を続け、「学習とスポーツを通して人間性豊かな紳士となるよう」のスクールモットーのもと、学習カリキュラムの改定や指導方法・内容の充実を図り、これまで以上の実績と成果を出せるよう進んでまいります。

**同窓会員のご子弟を、ぜひ名古屋中学・名古屋高等学校へ!!**  
現在次年度入試要項を配布中です。必要な方は事務局(学務課へ)請求ください。なお、入試に関してのご相談も随時受け付けておりますのでご連絡ください。  
(052-721-5271)

## TOPICS

### 大学院 トピックス

#### 大学院からのお知らせ (大学院入学試験について)

本学大学院は、特に社会人が学びやすいような特徴があります。

- ① 昼夜開講制
- ② 名古屋市の都心部、中日ビル内の「さかえサテライト」で講義
- ③ 各種奨学金や長期履修制度など、多様な制度が充実

また、経済経営研究科では税理士試験の一部科目免除が受けられるコースも設置しています。

通信制大学院(英語学専攻)では、学習意欲があっても「仕事のため通学する時間がない」「名古屋から遠隔地に在住している」といった、時間的・地理的に制約がある方でも、自身のキャリアを中断せずに学んでいただける場を提供しています。

本学大学院は、社会人の方に広く学んでいただける環境を完備しています。「もう一度勉強したい」「会社で新たな知識を活かしたい」「税理士試験の一部科目免除を目指したい」など、このような考えをお持ちの方はぜひ大学院進学をご検討下さい。

12月・1月に大学院説明会を行います。詳細はお問い合わせ下さい。

#### 入学試験日程(通学制)

入試区分	課程	専攻	試験日	出願期間	合格発表
第Ⅱ期	修士 博士前期	経済学専攻	2月 4日(土)	1月 9日(月)~1月20日(金) (消印有効)	2月17日(金)
		経営政策専攻	2月 5日(日)		
		英語学専攻	2月 4日(土)		
		国際文化協力専攻	2月 5日(日)		
第Ⅲ期	修士 博士前期 博士後期	全専攻共通	3月 3日(土)	2月 1日(水)~2月15日(水) (消印有効) 1月23日(月)~2月 6日(月) (消印有効)	試験後5日以内に合否を通知 2月24日(金)
		経営政策専攻	2月18日(土)		

※第Ⅲ期入試は実施しない場合があります。実施の有無は1月27日(金)に決定します。

#### 入学試験日程(通信制)

入試区分	課程・専攻	会場	試験日	出願期間	合格発表
第Ⅱ期	博士前期 英語学専攻	名古屋	2月11日(土)	1月 9日(月)~1月23日(月) (消印有効)	2月24日(金)
第Ⅲ期		東京	2月25日(土)		
第Ⅳ期		名古屋	3月 3日(土)	2月 6日(月)~2月19日(日) (消印有効)	3月 8日(木)
		大阪	3月 4日(日)		
	博士後期 英語学専攻	名古屋	2月12日(日)	1月 9日(月)~1月23日(月) (消印有効)	2月24日(金)

お問い合わせ先

名古屋学院大学さかえサテライト 大学院事務室  
TEL:052-678-4076 FAX:052-242-5341

〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階  
E-mail:ngugs@ngu.ac.jp

# 同窓生交流のネットワーク

## 同窓会ホームページ「NGUDO.com」

名古屋学院大学同窓会ホームページ <http://ngudo.com/>

インフォメーション  
Information

同窓会事務局では、皆様のご意見・アイデアをハガキ・FAXでもお待ちしております。「NGUDO.com」同様、お気軽にご投稿ください。

同窓会ホームページ「NGUDO.com」は、開設12年目を迎えます。今や約4万人近い同窓生の皆様に、同窓生交流の場として利用していただくため積極的に運営を行っています。お気軽にアクセスしていただき、活発な情報交換の場としてご利用くださいますようお願いいたします。

また、同窓生の皆様へ発送した郵便物のうちかなりの数が宛先不明として返送されてまいります。一人でも多くの方々に情報をお伝えするためにも、お知り合いの同窓生の消息をご存知の方は情報を、住所登録・変更ページに書き込みをしていただけると幸いです。

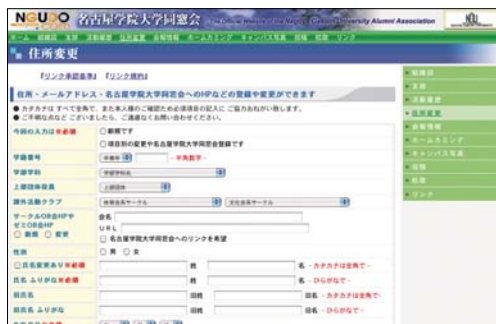
同窓会への要望・質問はもちろん、皆様からいただいた貴重なご意見を今後の同窓会運営に活かしてまいりますので、「NGUDO.com」を是非ご利用ください。

主  
な  
コ  
ン  
テ  
ン  
ツ

C  
O  
N  
T  
E  
N  
T  
S



トップページ



住所登録・変更ページ



支部ページ



投稿ページ

## 支部連絡先

各支部では毎年支部会を開催しています。お問い合わせは左記へお願いします。またホームページ上でも、各支部の連絡事項等をご覧いただけます。

**関東支部**  
吉田眞一郎(72年卒)  
〒232-0072  
神奈川県横浜市南区永田東1-10-8  
モリスガーデンヒルズA105号  
TEL 045-721-2537

**三重支部**  
中野隆自(71年卒)  
〒516-0077  
三重県伊勢市宮町2丁目8番2号  
ラ・フェンテ2F  
(有)ジャパンネットワークピア内  
TEL 0596-28-8186

**石川支部**  
油谷 哲治(83年卒)  
〒924-0801  
石川県白山市田中町63番地1  
石川中央交通(株)内  
TEL 076-274-2100

**富山支部**  
小山民夫(74年卒)  
〒939-8192  
富山県富山市布市新町209  
TEL 090-7588-2701  
勤務先(株)名鉄トヤマホテル

**福井支部**  
山本章五(68年卒)  
〒918-8231  
福井県福井市問屋2-33  
八百五飲料食品(株)内  
TEL 0776-24-9890

**中国・四国支部**  
大北浩資(79年卒)  
〒702-8022  
岡山県岡山市南区福成3-6-13  
TEL 086-264-8831

## 住所変更届けのお願い

同窓会事務局では、同窓会員の皆さんに同窓会会報等の配布物を定期的に送付しておりますが、住所不明による郵便物の返送がかなり発生しております。現住所より転居される場合、同窓会事務局までご連絡いただくか、同窓会ホームページの「住所登録・変更ページ」にて変更していただきますようお願い致します。また、知り合いの同窓生で転居された方をご存じの場合も、同様にご連絡いただけますようお願い致します。

### 連絡先

名古屋学院大学同窓会事務局  
〒460-0008 名古屋市中区栄4-1-1 中日ビル7階  
TEL052-242-6444 FAX052-242-6445  
※同封の住所・勤務先等変更FAX用紙をご利用ください。  
同窓会ホームページアドレス <http://ngudo.com>

## 同窓会員の皆様ご注意を

最近、同窓会の名を騙って住所や就職先を電話・FAX・はがき等で尋ねてくる事があるようですが、同窓会では一切そのような事はしておりませんので、ご注意ください。